

平成 29 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の人材が地域で学び地域で活躍する風土醸成事業
事業主体 (連絡先)	(公財)上伊那産業振興会 伊那市西箕輪 2415-6 電話 0265-76-5661
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	4, 181, 430 円 (うち支援金: 3, 025, 000 円)

事業内容

本事業は上伊那全体の人口減少抑制に貢献することを目的として取り組み、同時に地域の産業や文化を育む人材が育成されていく風土の醸成を目指しました。

- 1、環境出前授業 小学 11 校、790 名参加
- 2、子供科学工作教室 小学性 72 名、スタッフ 53 名参加
- 3、人材ふれあいフェア
 - ・講演会
 - ・企業・高校生・工科短大生の展示
 - ・ものづくり体験教室 4 コース
 - ・おもしろ実験室 3 コース
 - ・750 名参加
- 4、人材育成研修
 - ・改善、経営強化、技術習得などをテーマ
 - ・15 講座、計 318 名参加



環境出前授業



子供科学工作教室



人材ふれあいフェア



人材育成研修

事業効果

- 1、環境出前授業
 - ・実習や講義により、楽しみながら環境やエネルギーのこと、地域社会のことを学びました。対前年で対象校は 4 校増、小学生は 410 名増でした。
- 2、子供科学工作教室
 - ・ものづくりを楽しく体感出来たと共に、企業や高校生が協力し合えました。
- 3、人材ふれあいフェア
 - ・集客数は対前年度 370 名増となりました。
 - ・今後の継続と内容の充実に期待が寄せられました。
 - ・地域住民の地域への意識を一層高められた。
- 4、人材育成研修
 - ・中小企業の自社で対応出来ない人材育成を支援できた。対前年 6 講座増。受講者 215 名増でした。
- 5、全体
 - ・総合的な人材育成への気運と素地が出来た。
 - ・他の様々な活動への波及効果がありました。

【目標・ねらい】

- ①若者や住民に、地域の産業、取り組み、魅力などを再発見してもらう。
- ②ものづくりや科学技術の楽しさや大切さを知り、将来の進路を見つける。
- ③教育の拠点としての南信工科短大を知ってもらう。
- ④地域への人材の定着。

自己評価 【 A 】

【理由】

いずれの活動についても下記の結果であったため、A と評価する。

- ・当初の予定通りやり遂げた。
- ・予想以上の参加が得られた。
- ・スタッフ、参加者、いずれからも喜ばれ、今後の継続を期待された。

今後の取り組み

今後も発展させながら継続させていきます。特に、より多くの参加者を得るための工夫を図ることと、各種団体、機関、グループとベクトルを合わせた活動にしていくことに尽力し、地域の人材が地域で学び地域で活躍できる環境の構築と風土づくりを目指していきます。